

熊本地震 災害支援活動報告会



日時:2017年3月9日

会場:彩りごはん Jian

事例発表

キッズ・スマイル・プロジェクト
宮崎高虎氏

こどもの給食を考える会くまもと
園田恭子氏

くまもと友救の会
松岡亮太氏

ハレルヤ熊本/OJAK
園田みつよし氏

ぱとさんと素敵ななかまたち
パトリック井島ワッシュバーン氏

実施報告書

事業名	熊本地震災害支援活動報告・交流会 「長期化する支援活動の『これから』について考え合おう」			
開催日時	2017年3月9日(木) 14:00～17:00			
会場	彩りごはん Jian (熊本市中央区新屋敷1丁目22)			
目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地震発生後の災害支援活動について発表するとともに、今後の長期化する活動をどのように継続していくかを参加者同士で考え合う。 2. 九州環境サポートセンターと熊本県の環境NPO等、また参加者同士のネットワーク構築。 3. 熊本県の環境NPO・災害支援活動団体等の活動情報、ニーズ収集。 			
対象	熊本県または近隣県の環境NPO・企業・行政・個人。また、熊本震災で現在支援活動している団体若しくは活動予定の団体。			
参加費	500円(飲み物・飲食代)			
参加者実数	14名(他、事例報告者5名)	140%	目標人数	10名
入会者	1名	「くまもと友救の会」 2017年度より入会として 入金受付	1名	「なのはな保育園 岩本淳子様」 入会検討中
スタッフ	宮原理事長・岡監事・事務局三澤・本多			
内容(流れ)	1 開会挨拶	宮原理事長		
	2 事例発表発表(50分)	参加団体5組 (10分程度/団体)		
	3 会場提供団体紹介	NPO法人えん(彩りごはんJian)正会員 理事長 島野俊紀様		
	4 交流	参加者より次年度の目標と課題について(一人1分PR)		
	5 ワークショップ	岡裕二監事 「課題解決にむけて～終わらせ方、繋ぎ方」		
	6 閉会、記念撮影	今後のサポセン事業予定についてのお知らせ		
成果	<ul style="list-style-type: none"> 発表者、参加者とも、多様な活動をする団体・個人の参加をして貰え、相互の気づきや学びの場となった。 自分達の活動にない内容の支援をする団体と相互に出会えたことで、新しい協働ができるとよろこんでいただけた。 支援活動を経験していなかった参加者の方にも、今後の繋がりについて考えていただけ、ご自身の困りごとを誰に支援依頼したらいいのかを、ネットワークを利用して紹介を受けたいと話され、協働の糸口ができたと思う。今後、入会もご案内したい。 会費が未納だった会員の皆さんに直接納付してもらう機会を持てた。今後も満足いただける会員サービスの継続と向上を努めたい。 			
改善	<ul style="list-style-type: none"> 事務局以外で開催する場合の、会場近隣の駐車場確保について、事前の確認が十分でなかった。駐車できないために、開始時間に遅れたり、参加を断念した方も居た(全ての時間の参加も難しい方だった)次回以降の改善が必須である。 机の配置、機材の準備、受付、報告者・参加者対応など、準備時間と役割分担を事前に十分に検討する必要があった。 発表時間や自己紹介等の時間管理はうまくできなかった。 今後の支援活動報告会を年に2回行う等、長期間の準備期間を設け、より多くの人たちに参加してもらい、なおかつ、「協働のマッチング」が出来るような場を設けるなど、報告会の機会に参加者に得て貰うことを明確にしたい。 			

支援活動報告会 開催の様子

1. 開会挨拶

2 事例発表

(70分)



キッズ・スマイル・プロジェクト
宮崎高虎氏



こどもの給食を考える会くまもと
園田恭子氏



くまもと友救の会
松岡亮太氏



ハルヤ熊本/OJAK
園田みつよし氏



ぼとさんと素敵な仲間たち
パトリック井島ワッシュバーン氏



野崎貴司氏



NPO法人えん
島野俊紀様

会場は会員でもあるNPO法人えん運営の彩りごはんJian。発表資料投影をする側が見える形にテーブルを配置。自己紹介にも、前方に出たりなど、自由で活発な雰囲気の中進められた。



3 会場提供団体紹介と休憩

(20分)

4 交流(30分)



交流は、休憩をとり飲み物スイーツを召し上がりながらの名刺交換など。



記念撮影

5 ワークショップ(30分)

6 閉会、記念撮影



ワークショップは、各自の支援活動の【終わり方・次へのつなぎ方】について、一人一枚のポストイットに記入、模造紙に。「支援作業や注意点をマニュアル化」「フェードアウトするように終わらせる」